

教育センターニュース

四日市市教育委員会 教育支援課
〒510-0085 四日市市誠訪町 2-2 (四日市市総合会館 6階)
TEL (354)-8283 (代) FAX (359)-0280



教育支援課
マスコットキャラクター
しえん君



ホームページ <http://www.yokkaichi.ed.jp/e-center/>

■特集 教師力向上, 特別支援教育グループ活動

教師力向上のために

平成二三年度に示された第二次四日市市学校教育ビジョン重点目標⑧「教職員の資質・能力の向上」には次のように書かれています。「教育への情熱を持ち、豊かな人間性を備え、自己相互研鑽を積み、確かな教師力を持った教職員をめざします」と。教育支援課では、社会人・職業人として「幼小中全教職員それぞれにつきたい専門的な力」を教師力と考えています。それでは、教職員は、教師力を如何にして身につければいいのでしょうか。宮本武蔵の言葉に「千日をもって鍛とし、万日をもって錬となす」があります。剣の道は、千日、約三年。「鍛えられること」で「基礎ができ、万日、約三〇年。続けることにより熟練する」という意味だそうです。教師力をつけるのも同様で、ライ

フステージに依じて、日常的・継続的な「鍛錬」の場が必要なのではないでしょうか。このように考えると、より多くの教職員が、効率的に教師力を身につけていくための方法のひとつは、OJTだと考えられます。信頼関係にある同僚が、日常的・継続的に研修に取り組める意味でOJTは効果的です。全員参加の研修会等をイメージするのはなく、例えば、放課後、理科の予備実験を、学年や教科部会等ですることがあるでしょう。そのようなときに、単元の流し方や実験をするときの諸注意等、様々なことを伝え合うのです。また、生活・生徒指導を複数の教職員でするときに、子どもの注意の仕方、保護者への経過・結果の伝え方等を学び合うのです。このようなこ

教育支援課 山鋪 清尚

とに意識的に取り組めば、OJTといえるでしょう。教職員相互が教育技術や教育哲学等を交流・伝承していくことを繰り返すことで、教師力は身につけていくと考えられます。これは、日本の学校文化でもあります。

教育支援課はそれをサポートします。教育支援課のキャッチフレーズは、「出かける支援課 いつでもあなたを支援します」です。よろしくお願いいたします。



さらなる教師力向上に向けて

*「教師力」とは、幼小中全教職員それぞれにつけたい専門的な力のことを言います。

「教師力向上研修」の活用



これまで分冊であった「教師力向上サポートブック」と「四日市市学校・園教職員 自己相互研鑽のために」を合わせ、より簡潔で活用しやすい職種別（小・中学校教員版、養護教諭版、栄養教諭・学校栄養職員版、事務職員版、幼稚園版、管理職版の6種類）の冊子を作成しました。

自己分析や振り返りを充実させるとともに、子どもの学びに生かすため、積極的に活用しましょう。

教育への情熱を持ち、
豊かな人間性を備え、
自己相互研鑽を積み、
確かな教師力を持った
教職員をめざします。

四日市市学校教育ビジョンより



まずは、自己分析を！自分自身をみつめることが第一歩です。

研修プログラム

- | | | |
|-------|----------------|-------------|
| Step1 | 「気づき」のステップ | ～自分を知ろう～ |
| Step2 | 「選択と判断」のステップ | ～取組計画を立てよう～ |
| Step3 | 「行動」のステップ | ～他から学ぼう～ |
| Step4 | 「経験」のステップ | ～実践しよう～ |
| Step5 | 「振り返りと内省」のステップ | ～振り返ろう～ |

教育センターHPデータベースの中にすべてのデータが入っていますので、チェック項目を追加・削除して活用してください。

1

YESnetが学校へ出向きます



子どものこころの病を早期に発見、支援するために、教育委員会、保健所、医療機関（さがわ通り心・身クリニック）が連携しています。その取り組みとして、今年度も YESnet スタッフが要望のあった学校に出向きます。

出前授業

ストレスケアの授業
ストレス解消の方法 等

要請のあった中学校を訪問（未実施校のみ）
対象学年や日程等ご相談ください。

出前研修

思春期の子どもを理解を深める講義
思春期の特徴とこころの病について 等



出前相談

心の病気が疑われるケース
事例検討会 等



YESnet 庁内会議（総合会館で月に1回開催）で、心の病気が心配な子どもの事例検討を行います。学校の先生も一緒に参加していただくことができます。

YESnet 相談窓口 354-8285 担当 教育支援課 佐々木

2

不登校の子どもを支援する 適応指導教室（わくわく教室・ふれあい教室）

子どもたちが、いろいろな経験や体験を通して、自信をつけ、新しい一歩を踏み出すエネルギーを蓄えるお手伝いをしています。

わくわく教室

- ★対象 小学生
- ★時間 毎週金曜日 10:00~12:00
- ★場所 相談支援センター・集団学習室
（総合会館6階）
- ★活動内容 <集団活動>
 - ①はじまりの会（みんなであいさつをしよう）
 - ②ウォーミングアップ（からだを動かそう）
 - ③ゲーム（友だちと楽しく遊ぼう）
 - ④終わりの会（活動を振り返ろう）<個別学習活動>
 - ・希望者には、教科学習も行います。



ふれあい教室

- ★対象 中学生
- ★時間 毎週月曜日~金曜日
9:00~12:00 13:30~16:30
- ★場所 四日市市勤労者・市民交流センター北館
- ★活動内容
 - ・情緒の安定を図るための教育相談やカウンセリング
 - ・基礎学力補充のための学習活動
 - ・集団生活に適應するための相談や指導
 - ・体験活動（テニス教室、茶道教室、野外活動、博物館見学など）



3 富田小学校に通級指導教室が新設されました！

富田小学校に言語通級指導教室と情緒等通級指導教室が新設され、6月に開級します。それに伴い、各通級指導教室の地区割を変更しました。詳細につきましては、[学校掲示板データベース](#)にてご確認ください。



言語通級指導教室（ことばの教室）	情緒等通級指導教室（ほっとルーム）
個別指導で他の人とコミュニケーションできることばの力をそだてます	個別や小集団で人とのかかわり方をまなびます
中部西小学校（3教室） 田中 小夜子 先生 奥山 泉 先生 伊左治 智香子 先生	桜小学校（2教室） 加藤 裕子 先生 豊田 恵子 先生
桜小学校 甲斐 八代美 先生	内部東小学校 葛巻 晃 先生
富田小学校 今村 香奈子 先生	富田小学校 佐藤 美由紀 先生



保護者から通級希望がありましたら、校内委員会で通級指導が必要であるか検討し、地域特別支援教育コーディネーターやスクールカウンセラーに児童の観察を依頼してください。

4 地域特別支援教育コーディネーターの紹介

今年度も小学校 5 名、中学校 3 名の地域特別支援教育コーディネーターが活動(原則週 1 回木曜日)します。訪問要請に際しては、校内委員会等で事前によく話し合い、対象児童・生徒を絞り込む等、目的をはっきりとさせてから要請するようお願いします。



- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| Aブロック 杉本 恵里子 先生 (常磐西小) | 北部ブロック 平野 雅也 先生 (桜中) |
| Bブロック 鶴崎 真 先生 (桜小) | 南西部ブロック 佐藤 英子 先生 (南中) |
| Cブロック 今村 真也 先生 (楠小) | 中部ブロック 小林 正美 先生 (西笹川中) |
| Dブロック 近田 充 先生 (泊山小) | |
| Eブロック 伊藤 二三郎 先生 (常磐小) | |



ブロックは、「H24 地域特別支援教育コーディネーター配置要項」(四日市市掲示板>学校・園事務)にてご確認ください。